

## What's NEW

### 小中一貫教育で目指す

### 体力向上

#### 【今、子どもたちの現状は?】

「体力・運動能力調査」(文部科学省)によると、子どもの体力・運動能力は、昭和60年ごろから現在まで低下傾向が続いています。

同調査における東京都の中学校の結果は、全国的にも低位にあり、品川区はその平均をほぼすべての種目で下回っているという現状にあります。特に女子にその傾向が顕著です。しかしながらこれは、中学校だけの課題ではなく、幼児期や小学校での運動経験や環境などが影響しており、1日や2日で改善する問題ではありません。

こうした現状を改善するには、子どもの体力向上に向けて、学校・家庭・地域が協力し、具体的な取組を行うことが重要です。

#### 【運動好きな子どもを育てるための

#### プロジェクトスタート!!!

そこで、今年度品川区では、下図にあるような【品川アクティブライフプロジェクト】を立ち上げ、次の3つの視点から子どもたちの体力を高めていこうと考えています。

#### 運動の日常化

##### 運動に親しみ機会の保障

##### 品川スポーツライアル

- ・外部講師(中学校または高等学校保健体育科免許保有)による習熟度別指導や少人数指導等での専門的指導により確かな技能が身に付く。
- ・教員と外部講師のチームティーチング(合同授業研究)により、授業の充実を図ることができる。

#### 授業力向上

##### 教員の授業力向上

##### テクニカルアドバイザー

- ・外部講師(中学校または高等学校保健体育科免許保有)による習熟度別指導や少人数指導等での専門的指導により確かな技能が身に付く。
- ・教員と外部講師のチームティーチング(合同授業研究)により、授業の充実を図ることができる。

#### 生活習慣改善

##### 運動の習慣化

##### ワンミニッツエクササイズ

- ・朝の時間や授業開始前など短時間でできる簡単な運動を行い、運動習慣を身に付ける。

##### リーフレットの作成・配布

一点目は、子どもたちが運動を好きになり、主体的に運動することをねらいとして【品川スポーツライアル】を設定し、9月から全校で共通の種目に取り組みます。この取組をきっかけとして、多くの子どもたちが休み時間や放課後などに練習をしたり、友達と協力しながら元気いっぱい運動したりする姿がたくさん見られるようになると期待しています。

二点目は、体育の専門的な指導力をもつ【テクニカルアドバイザー】の導入です。教員とともに子どもたちに直接個別指導をしたり、見本を見せたり

することで、確かな運動の技能を身に付けさせます。

三点目は、1分程度でできる簡単な運動【ワンミニッツエクササイズ】を、朝の学級活動や授業開始前に行うことで、心と体をほぐし、集中力を高めます。また、エクササイズをまとめたリーフレットを作成し、平成28年度に全児童・生徒に配付する予定です。

#### 【学校・家庭との連携がカギです】

はじめに述べたように、生きる力のベースとなる子どもたちの体力を向上させるためには、学校だけでは限界があります。各家庭でも日ごろから運動する習慣をつくり、入浴の前や食後など、時間を見つけてお子様と一緒に運動してみるなど、健康な生活を目指してみませんか。



テクニカルアドバイザーを活用した小学校での授業の様子

## 家庭教育ブックを新たに 作成・配付しました

子どもたちが自立した社会人として成長することを願い、小中学生の保護者の子育てのヒントとなるよう、家庭教育ブック『しながわ子育て応援歌』と家庭教育力チェックシート『しながわ子育てサポートシート』を作りました。作成にあたっては、品川区の小中一貫教育の4（1～4年生）・3（5～7年生）・2（8～9年生）のまとまりごとに、心身の発達や市民科の学習内容を考慮して3バージョンで構成しました。



### 【構成】5つのカテゴリー（全40P）

- ① こんなときは、  
どうしたらいいの？ 10の悩み
- ② 子育て 12のヒント
- ③ 身に付けさせたい5つの  
スキル・ルール・マナー
- ④ 親の心構え 3つの道しるべ
- ⑤ 子育て支援 きっと役立つ連絡先

平成27年度は、保護者会や家庭訪問、個人面談等の場で小中学生の全保護者に配付します。

また、家庭教育講演会やPTA委託事業の家庭教育学級等でも取りあげる予定です。

社会の変化にとまどない、子育てに対する考え方も多様化してきています。同様に、子育てに関する問題や悩みも多様化・複雑化してきています。また、子育てに関して相談したくても、どこに相談してよいかかわからなかったり、仕事をしているために時間の余裕がなかったりする実態もあります。

この『しながわ子育て応援歌』

### しながわ 子育て サポートシート

こんなときは、どうしたらいいの？ 10の悩み

No.	悩み	ページ	冊数
1	子どもの行動が心配でたまらない、どうしたらいいの？	10	10冊
2	兄弟姉妹の仲が悪い、どうしたらいいの？	11	11冊
3	先生や先生のお話に集中できない、どうしたらいいの？	12	12冊
4	友達と遊ぶ約束が守られない、どうしたらいいの？	13	13冊
5	友達と遊ぶ約束が守られない、どうしたらいいの？	14	14冊
6	友達と遊ぶ約束が守られない、どうしたらいいの？	15	15冊
7	友達と遊ぶ約束が守られない、どうしたらいいの？	16	16冊
8	友達と遊ぶ約束が守られない、どうしたらいいの？	17	17冊
9	友達と遊ぶ約束が守られない、どうしたらいいの？	18	18冊
10	友達と遊ぶ約束が守られない、どうしたらいいの？	19	19冊

身に付けさせたい5つのスキル・ルール・マナー

No.	項目	ページ	冊数
1	挨拶が出来るようにする	20	20冊
2	人の話を最後まで聞く	21	21冊
3	ア・心算と筆算の練習	22	22冊
4	胸に手を置いて挨拶	23	23冊
5	挨拶が出来るようにする	24	24冊

子育てのヒント

No.	項目	ページ	冊数
1	子育てのヒント	25	25冊
2	子育てのヒント	26	26冊
3	子育てのヒント	27	27冊
4	子育てのヒント	28	28冊
5	子育てのヒント	29	29冊

親の心構え 3つの道しるべ

No.	項目	ページ	冊数
1	親の心構え	30	30冊
2	親の心構え	31	31冊
3	親の心構え	32	32冊

をご覧いただき、親としての在り様や子育ての在り方について振り返っていただくと、きっかけりになればと思います。また、相談したい事や相談できる窓口を知る参考になればと考えます。品川区は子育ての問題や悩みを、教育と福祉の両輪で支援しています。ご一緒に子育てについて考えてみませんか。

※品川区教育委員会のHPにも掲載されています。



## 品川区教育フォーラムを 開催します

品川区では平成18年4月から、区立全小・中学校で、品川区小中一貫教育要領に基づく小中一貫教育を実施してきました。

昨年度末、9年間の小中一貫教育を受けた生徒が初めて卒業しました。今年度は10年目の節目の年となります。小中一貫教育10年間の成果と課題を総括するとともに、今後を見据えた品川区の教育展望について、広く保護者、地域住民、教職員および教育関係者の皆様へ知っていただくため、品川区教育フォーラムを開催します。

午前は各学校を会場に授業公開と学校紹介等を実施し、地域・保護者の皆様方に今までの品川区の教育の成果を子どもたちの姿でお見せします。

午後はきゅりあんに場所を移し、品川区の教育の展望について提案します。

保護者・地域の皆様のたくさんのご参加をお待ちしております。

## 小中一貫校 日野学園

### 開校10周年を迎えました

平成27年5月16日(土)、地域・保護者の方々のご協力のもと開校10周年記念式典が行われました。

「日野学園が全国初の施設一体型小中一貫校として大きな挑戦をしてきました。学校生活で皆さんが一生懸命に取り組むこと、新しいことにチャレンジすることが大切です。日野学園で学べることに自信と誇りをもち、勉強・運動・行事をさらに頑張らしましょう」という西島校長の式辞の後、「品川区が始めた小中一貫教育が、今では日本全体の教育のスタンダードの一つとなっています。上級生の皆さんは、しっかりと下級生を見守り、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックではボランティアなど何らかの形で関わってください」という濱野区長からの祝辞がありました。

当日は、来賓祝辞をいただいた、大崎第一地区町会自治会連

合会の近江清光連合会長や日野学園PTAの本田真紀子会長をはじめ、たくさんの方が来場されました。

式の終わりには、4年・7年・9年の代表3人の発表や、全校児童・生徒が夢を見つけ、夢に向かっていく思いを込めた「すべての山に登れ」の記念合唱が披露され、学園歌斉唱で式典を閉じました。



## ICTを活用した教育活動推進校

### 源氏前小学校の研究

ICTを活用した教育活動推進校である源氏前小学校は平成26・27年度の2年間、品川区の指定を受け、東北学院大学稲垣忠准教授の御指導の下、ICTを活用した授業研究に取り組んでいます。昨年度は主に算数での活用を研究し、今年度は対象を全ての教科に拡大しました。

5月14日には第3学年社会科の研究授業が行われました。学校周辺の地域の特徴を調べる単元の学習で、町探検を行った報告会でした。児童たちは、タブレットPCを持ち出し、町探検に出かけ、気付いたところを写真撮影し、店舗や交番でインタビューを行った様子を動画で撮影してきました。

研究授業当日は、児童が作成した地図を書画カメラでスクリーンに、写真や動画は大型テレビに映し、地図と写真を指し示しながら説明をしていました。インタビューの動画では、店員

や警察官の話がその場になかった児童にも臨場感たっぷりとなり、ICT活用のメリットを実感できる授業となりました。

研究当初「タブレットをまずは大きなカメラだと思って使ってみてください」と稲垣先生に助言をいただき、授業で活用するイメージが膨らみ、先生方の意欲が高まったそうです。

研究発表は11月25日、活用のハウツーではなく、学習の定着に対するICTの貢献度合いを見取りたいと研究に熱が入っています。



◀タブレットPCを持って町探検



▶プロジェクトや大型テレビを活用した報告会

## 第1回総合教育会議が 開催されました

平成27年6月9日（火）に第1回総合教育会議が区役所で開催されました。

この会議は、本年4月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、地方公共団体の長が設置することとなったものです。会議は区長が招集し、区長および教育委員会によって構成され、互いの連携強化を主な目的としています。今年度は、3回程度開催し、大綱の策定や教育を行うための諸条件の整備に関することなどについて協議・調整を行う予定です。

会議の始まりにあたり、濱野区長から、「かねてから両者間で懇談会を開催し、情報交換や意思疎通など連携の強化を図ってきた。従来からの信頼関係をさらに発展させ、子どもたちの幸福のために奉仕をしていきたい。区の基本計画のスローガンである『未来を創る子育て・教育都市』実現のため協力願いたい」と挨拶がありました。続いて鈴木教育委員長は「新制度のもと初めて開かれる総合教育会議では、文化、スポーツなどの多種多様な意見交換を行うことで、これまで以上に実りのある会議になることを願っている」と述べました。

会議では、まず会議の運営について、次に

教育大綱の策定について話し合われました。教育大綱に関連し、子どもたちを取り巻く様々な課題に対して、意見交換が行われ、学校と家庭と地域が協力していくことの重要性、教員の質の向上、英語教育の必要性、地域の歴史や文化など日本の素晴らしさを子どもたちに伝えていくこと、区が開発した小中一貫教育のさらなる推進、独自採用教員への期待などの意見が出され活発に話し合いが行われました。



## 生まれ変わった 御殿山小学校

御殿山小学校の新校舎が完成して初めての学期を迎えました。正面玄関や吹き抜けは明るく開放的です。ホールやアリーナも広くて快適です。また、太陽光や風力による蓄電や適度な温度を保ったまま換気できるシステムなど、至るところにエコスクールの仕掛けが施されています。そして、環境に関するデータは「見える化モニター」でいつでも確かめることができます。

新校舎の完成を待ち望んでいた子どもたちは、毎日心躍る思いで充実した学校生活を送っています。校舎改築は大崎駅周辺の再開発とも同時期であったので、学校の内外がすべて生まれ変わった様子が感じられます。9月には校庭等の外構工事も終了し、新生・御殿山小学校が完成します。



エコスクールとして新たなスタートを切った御殿山小学校

区固有教員採用1年目を振り返って



立会小学校 柿崎 優

私が勤務する立会小学校では、学習や生活について決められた立会スタンダードがあり、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、職員一丸となって指導にあたっています。

また、1年生からの外国語活動、授業充実を図る教科担任制、算数の習熟度別学習、各学年多くの体験活動等、教育の質の向上のために日々徹底して取り組んでいます。

そのような恵まれた環境で自らの指導力を培うことができることを嬉しく思うとともに、区独自の教科である市民科や小学校の英語教育についてさらに研究を深めていきたいと思っています。

昨年度、先輩方から教えていただいたことを糧とし、今年度も全力で励んでいきます。



豊葉の杜学園 山本 蓉

私が感心した豊葉の杜学園の小中一貫教育を紹介します。

まず、1年生から9年生まで全児童・生徒が参加する運動会や学習成果発表会です。5・6年生は、部活動を含む7〜9年の教育活動へ参加し、先輩たちと関わることで、7年生になることへの不安が減り、安心感につながっています。

次に、校内の小・中学校教員の垣根を越えた市民科を中心とした授業研究です。先生方の活発な意見交換や学び合いを通して、円滑な小中の接続が図られます。幼保一体型施設という特色も生かし、0歳から15歳までの一貫した教育活動も展開しています。

この先進的な教育現場で、やりがいを持ちながら、品川の子どもの笑顔のために日々全力で取り組んでいます。

LIBRARY report



「品川区子ども読書活動推進計画」は、国や都の動向を受けて、平成17年に策定しましたが、10年が経過し、社会情勢の変化や新たな課題が出てきました。

そこで、この10年間の活動実績を踏まえつつ、近年における電子書籍等の急速な普及などの読書環境の変化も視野に入れ、改訂しました。

計画の期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間です。今回改訂するにあたり、区立小中学校および小中一貫校を対象にアンケートを実施しました。その結果として、

「読書が好き」  
 「本を読む冊数」  
 「学校図書館の利用」  
 が、目に見えて伸びている現状を確認できました。

改訂版には、具体的な推進活動の紹介の他に、保護者自身の読書活動の重要性を意識した家庭での読書の推進、中学生の読書量低下への対策、区立・学校

図書館の資料の充実・活用等の取り組みについても盛り込んでいます。

品川区では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に合わせ、グローバル人材の育成やICTの普及に対応した教育活動を進めています。

このような国際化、情報メディアの多様化のなかでも、読書は自ら課題を見いだし、考え、判断し、表現することができる資質や能力をはぐくむための重要なきっかけとなります。

すべての子どもが、自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付け、「生きる力」とともに「生き抜く力」を養うために、社会全体で子どもの読書活動を支える環境を整備し、品川区の施策方針に沿った読書活動推進に取り組んでいきます。

「品川区子ども読書活動推進計画（改訂版）」は、品川区立図書館ホームページ (<http://lib.city.shinagawa.tokyo.jp/>) に掲載していますので、ご覧いただくことができます。



平成  
26年度

品川区児童・生徒教育長表彰式

平成26年度品川区児童・生徒教育長表彰式が平成27年2月17日（火）に品川区役所第三庁舎講堂にて開催されました。

この表彰式は、品川区立小・中学校、小中一貫校において、スポーツおよび文化等の分野で日常的に努力し、優秀な成績を収めた個人や団体、あるいは、学校や地域、身近な人々のために貢献し、他の模範となるような行動をした児童・生徒をたた

え、表彰することを目的としています。

当日は、表彰者65名と保護者等62名の参加がありました。平成26年度品川区立学校校長会会長森嶋尚子校長より挨拶をいただき、中島豊教育長より、表彰盾とメダルが授与されました。児童・生徒を代表して戸越台中学校9年生宮脇忠義さんがお礼の言葉を述べました。

【スポーツ部門】 12件 (敬称略)	
第三日野小5年	森川葵咲樹 (レスリング)
浜川小6年	田南部魁星 (レスリング)
荏原一中	野球部全27名
戸越台中7年	島雄 智也 (水泳)
戸越台中8年	女子5名 (水泳400mメドレーリレー)
戸越台中8年	高濱 凌大 (水泳)
日野学園8年	森川 海舟 (レスリング)
荏原平塚学園8年	草住晃之介 (サッカー)
RAMS (東海中 他) 全17名	(ダンス)
相生イーグルス (第三日野小 他) 全8名	(軟式野球)
品川レディース (旗台小 他) 全18名	(軟式野球)
東京青山リトルシニア (戸越台中 他) 全4名	(硬式野球)
【文化部門】 3件	
荏原一中9年	長田 清楓 (税の作文)
戸越台中9年	勝田 葉月 (少年少女国連大使)
品川学園9年	渡来 由麻 (中学生の主張大会)
【ボランティア等の部門】 2件	
荏原一中9年	有志生徒全12名 (地域イベント運営)
戸越台中生徒会	全校生徒 (マナーアップ運動)

第33回 東京都小学生バレーボール大会男女ダブル優勝

2月28日、5年生以下の新チームで戦う、「ミカサ杯第33回東京都小学生バレーボール教育大会」が行われました。男子は、立会アタッカーズVBCが決勝で小岩クラブを2対0のストレートで下して初優勝。女子は、4ブロックに分かれて競い、二延マリンスが決勝でジュニアファイターズを2対0のストレートで下してAブロック優勝を果たしました。

第32回 品川区教育長杯争奪少年野球大会優勝 富士見台中学クラブ



優勝 富士見台中学クラブ

第32回品川区教育長杯争奪少年野球大会が、しながわ区民公園を中心に、4月5日から5月10日まで開催されました。中学生13チーム227名が参加し、熱戦を繰り広げました。

- 優勝 富士見台中学クラブ
- 準優勝 西大井倉田野球クラブ
- 第三位 全日野 立会キングス

女子Aブロック優勝 ▶ 二延マリンス

男子優勝 立会アタッカーズVBC